

藻場回復に向けて 「ウニ駆除」

口之津地区漁業者活動組織と加津佐地区漁業者活動組織では、藻場保全の活動として8月にウニ駆除を実施しました。近年、ウニが海藻を食べてしまい、磯焼け問題が深刻化しています。ウニの食害から藻場を守るために、駆除活動は大きな役割を果たしています。

岩陰に隠れているウニを見つけ、鉄の棒を使い割っていきます。毎年実施しており、1回の活動で約1,000～2,000個駆除していますが、繁殖力が強く、高水温でも活発的になるため、駆除作業が追い付かない状況です。

組織の高齢化や人手不足により厳しい現状ですが、今後も藻場回復に向けて活動を続けていきます。



(口之津地区で駆除する様子)



(ガンガゼウニ)



(加津佐地区で駆除する様子)



(ムラサキウニ)

※注意

駆除の様子がわかりやすいように石の上で写真を撮っています。

駆除は、海中で実施しています。